



# 人生百年時代の

## の教養講座

地域科学部発

令和5年度岐阜大学公開講座



受講料無料

対象／高校生以上

募集人数／100人

(応募者多数の場合は抽選)

2023.

9/2<sup>土</sup>・9<sup>土</sup> 13:30~17:00  
(各講義90分)

会場 岐阜大学地域科学部101講義室

※オンライン開催に変更となる場合があります。

プログラム

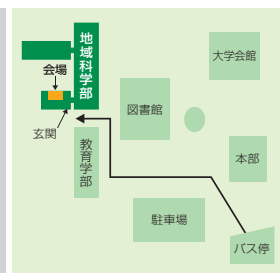
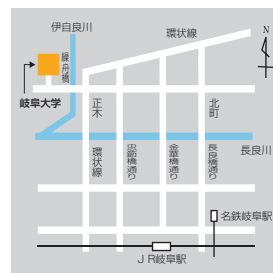
- 和佐田 裕昭 教授「見えないこと／無いこと／有ること／いくつも有ること」  
洞澤 伸 教授「若者たちが使う「バイト敬語」について」  
合掌 顕 教授「人間行動と環境の関係を理解するー環境心理学の視点ー」  
柴田 和宏 准教授「近世ヨーロッパの健康法と長命法」

申込方法 申込期限／8月10日(木)

受講を希望される方は、件名を「公開講座受講希望」とし、以下のメールアドレスへ、「住所」、「氏名(ふりがな)」、「年齢」、「電話番号」、「メールアドレス」、「車でのご来校の有無」をお送りください。

E-mail: [chiiki@t.gifu-u.ac.jp](mailto:chiiki@t.gifu-u.ac.jp)

※お寄せいただいた個人情報は厳重に保管し、本講座に関する連絡以外の目的では一切使用致しません。



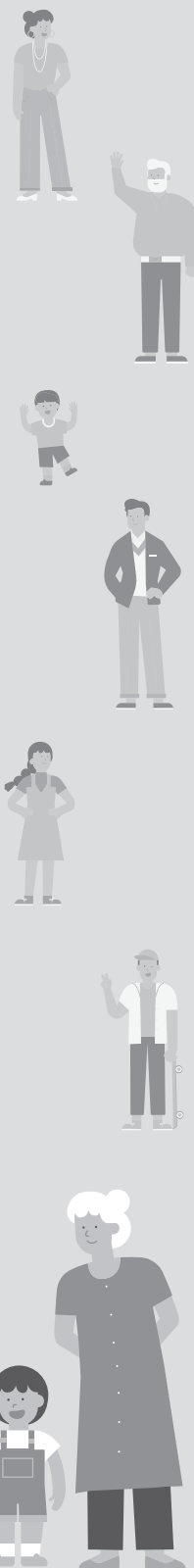
アクセス：JR岐阜駅前、名鉄岐阜駅前から岐阜バスで約30分

申込先・問合せ先

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1  
岐阜大学 地域科学部 総務係 Tel: 058-293-3002

E-mail: [chiiki@t.gifu-u.ac.jp](mailto:chiiki@t.gifu-u.ac.jp)

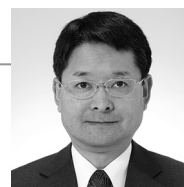
主催／岐阜大学  
企画／地域科学部



9月2日(土) 13:30~17:00

13:30 — 13:35 開講挨拶

13:35 — 15:05 90分 和佐田 裕昭 教授(量子化学)



## 「見えないこと／無いこと／有ること／いくつも有ること」

地域科学部の数学系と化学系の授業では、「ものの存在とは何か」を主題として多くの講義や実験・実習が展開されています。今回の講座では、実際の授業で扱われている連立一次方程式、化学実験等の中から、簡単な例をいくつか取り上げてご紹介いたします。解が存在するのかわからないのか、存在する場合は、いくつもあるのか一つだけなのかに注意しつつ考えることが、皆様が日々出会う色々な事柄に取り組みまれるときの参考となれば幸いです。

15:05 — 15:20 休憩

15:20 — 16:50 90分 洞澤 伸 教授(言語学)



## 「若者たちが使う「バイト敬語」について」

「バイト敬語」とは、ファミレス、コンビニ、ファーストフード店などで主に若いアルバイト店員たちが接客場面において使用する、たとえば、次のような一連の特徴的な表現です。「お飲み物の【ほう】はいかがですか?」、「ご注文は以上で【よろしかったですか?】」、「こちらコーヒー【になります】」、「1,000円【から】お預かりします」。これらの言い回しには違和感をもつ人が多く、「間違った言い方」、「変な敬語」、「おバカな日本語」などと呼ばれることがあります。また、ファミレスのゲストでは、「バイト敬語の撲滅運動」が起きています。この授業では、このような言葉遣いをする若者たちの心理を分析するとともに、それが本当に「日本語の乱れ」なのかについて考察します。

16:50 — 17:00 質疑応答・閉講挨拶

9月9日(土) 13:30~17:00

13:30 — 13:35 開講挨拶

13:35 — 15:05 90分 合掌 顕 教授(環境心理学)



## 「人間行動と環境の関係を理解するー環境心理学の視点ー」

電車の中で端の座席やボックス席の奥の席を選んだり、レストランで奥の席に座ることが多いのはなぜでしょうか? まちなかの建物に落書きがされてしまうのはなぜ? これらは環境と人間の関係について心理学の観点から研究する環境心理学のトピックです。普段はあまり意識しないかもしれませんが、公園で見かけるベンチや建物、お店の中などの配置やデザインは私たちの行動に影響を与えているのです。一方で、環境心理学発展の契機の一つとなったのは世界規模の環境問題であり、現在でもこの分野のホットなトピックになっています。この講座では環境心理学とはどのような学問なのかについて、具体的なトピックをもとにお話したいと思います。

15:05 — 15:20 休憩

15:20 — 16:50 90分 柴田 和宏 准教授(西欧科学史、思想史)



## 「近世ヨーロッパの健康法と長命法」

私たちの身の回りには、健康や長生きのための情報があふれています。実はこれは今に始まったことではなく、今回取り上げる16、17世紀の西ヨーロッパにも同じような状況がありました。当時は「人生百年時代」にはほど遠い状況でしたし、健康や老化、栄養などについての理解も、現在とはまったく異なっていました。それでも人びとは、当時なりの仕方自然や人体を理解し、健康長寿を実現しようとしていました。そして健康長寿のための方法としてとくに重視されたのは、やはり食べ物や飲み物でした。この時間は、食べ物や飲み物をめぐる当時の議論をたどりながら、科学や医学の歴史について(できれば現在についても)考えていきたいと思います。

16:50 — 17:00 質疑応答・閉講挨拶